

クウジット、IoT/Wearable を活用し、街でのヒト・モノ・コトをおもしろく

大崎駅周辺の参加型実験イベント「エブリスポ！」に技術協力

～大崎駅西口商店会 新規事業室と連携し、大崎一番太郎の運動ミニゲームなどを開発提供～

<http://www.koozyt.com/>

クウジット株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:末吉 隆彦)は、株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:釜井 節生、以下 ISID)のオープンイノベーション研究所(以下イノラボ)が主催する大崎駅周辺における参加型実験イベント「エブリスポ！」(3月2日～22日、表彰イベント 3月29日開催)に、大崎駅西口商店会(所在地:東京都品川区、会長:池田 一郎)の「新規事業室」(室長:綱嶋信一)と連携し、大崎駅西口商店会のマスコットキャラクター「大崎一番太郎」(デザイナー:犬山秋彦)をモチーフにした、身体を動かして運動ポイントを競うミニゲームを開発提供します。また3月22日に同新規事業室が定期開催している地域 IT 活性化プロジェクト「電腦カフェ」(コワーキングスペース「マチキチ」)において、「IoT/Wearable を活用した街づくり」をテーマにしたセミナーを開催予定です。



「大崎一番太郎」x「エブリスポ！」

コラボデザイン

※ 「エブリスポ！」については、下記 ISID からのプレスリリースをご参照ください。

URL: <http://www.isid.co.jp/news/2015/0213.html>

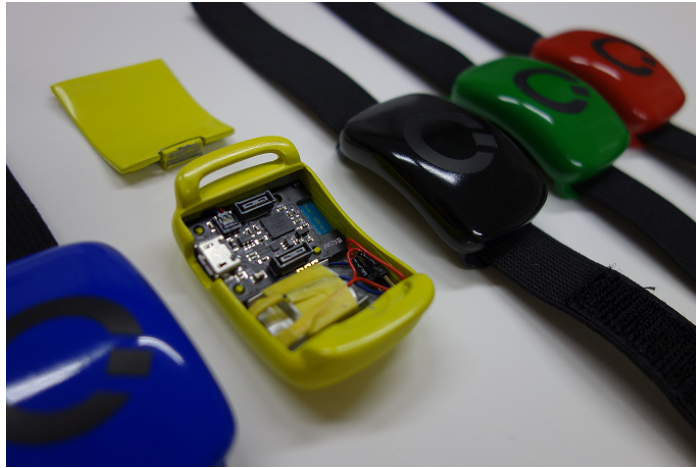
※ 「電腦カフェ」については、下記の URL をご参照ください。

URL: <http://d-cafe.osakinishi.tokyo/>

クウジットは、イノラボが主催する「エブリスポ！」イベントに、企画・運営・技術開発を支援する役割で参画しています。今回開発提供した「大崎一番太郎」と運動をモチーフにしたミニゲームは、イベント期間中、誰でも無料で体験可能です。ゲーム中に計測された運動量が多いほどポイントが高くなり、街に「運動ポイント」が蓄積される仕組みになっています。今回は、イベント期間中街に蓄積された「運動ポイント」によって、3月29日に開催される「エブリスポ！」表彰イベントの演出内容が変わってくる仕組みですが、将来的には、人も街も企業も健康になって、街のソーシャルグッドにつなげていきたいというコンセプトになっています。ユーザは、専用デジタルサイネージ(Kinect 搭載)の前に立ち、運動量を計測する専用のリストバンドを腕に装着します。リストバンドには、クウジットのスポーツセンサーボード「Q.board」(<http://www.koozyt.com/service/qboard>)が搭載されています。「Q.board」は、9軸センサーにより身体の動きを計測し BLE でデータを送信できます。ユーザは、画面上で「大崎一番太郎」が投げってくる球を、両手を動かして、はじかえしたり、悪役の「ババンバ・ババン番太郎」が投げってくる球をよけたりしながら、身体を動かします。「大崎一番太郎」が、ときどき投げってくるチケットをキャッチすると、「エブリスポ！」イベントに協賛している店舗や企業のクーポンやノベルティなどを街からの「ご褒美」として受け取ることもできます。専用デジタルサイネージは、イベント期間中に、大崎駅西口の複合商業施設 ThinkPark 内のスポーツカフェ「フットニック大崎店」テラス前、および「スポーツクラブ NAS 大崎」入口前の2か所に設置されています。



「大崎一番太郎」運動ミニゲーム



スポーツセンサーボード「Q.board」

クウジット代表取締役社長の末吉 隆彦は、下記のように述べています。

「今回の「大崎一番太郎」ミニゲームは、大崎駅西口エリアを訪れる誰もが自由に無料で体験可能です。普段より大崎に馴染みのある方も、そうでない方も、「大崎一番太郎」ファンの方も、「大崎一番太郎」をまだ知らない方も、この機会にぜひお立ち寄りください。そして、クウジットは、「エブリスポ！」イベントが発端となり、大崎駅西口商店会 新規事業室の方々をはじめとする、大崎の街づくりの人たちと連携して、今後とも IoT/Wearable を活用した街をおもしろくする取組みについて一緒にしていくこととなりました。3月22日には、「IoT/Wearable を活用した街づくり」をテーマにした、セミナーを「電腦カフェ」にて開催いたします。クウジットのこれまでの実空間での IT を活用したインタラクティブ施策を紹介しつつ、リアルとバーチャルを行き来するコンテンツ制作、コト作りについて意見交換できればと思っています。こちらも、ぜひご参加ください。」

大崎駅西口新規事業室 大崎一番太郎プロジェクト デザイナーの犬山秋彦 は、下記のように述べています。

「大崎一番太郎はこれまでも商店街というアナログな世界に最新のデジタル技術を導入し、「Bot(Twitter の自動返信プログラム)」や合成音声、Kinect、Unity、オキュラス、MMD(MikuMikuDance)など、さまざまな「IT コンテンツ産業との連携による地域活性化」の取り組みを行ってきましたが、今回は「地域＝場所」を巻き込んでウェアラブルやデジタルサイネージを使用する実証実験に参加させていただきます。まだ見ぬ最新技術を子供からお年寄りまで、みんなにとって身近に感じてもらえるよう、今回の試みが新しいチャレンジへの第一歩となることを願っています。」

大崎駅西口商店会 新規事業室室長の綱嶋信一は、下記のように述べています。

「私の街づくりの持論は、“ひと まち 企業が奏でるシンフォニー”です。毎年 10 万人を集めるまでになった「しながわ夢さん橋」イベントを、この 27 年間育ててきた経験から、街づくりは、断じてビルづくりではない。コミュニティづくりなのです。その昔「お先真っ暗、大崎」と言われ続けたこの街を「この先、大崎！」に変えていこうじゃないか。このような文脈から、人と街と企業が一体となって、スポーツや健康といったテーマで取り組む今回の活動に、全面的に協力サポートしています。」

クウジットは、今後も「IoT/Wearable を活用して、街での ヒト・モノ・コトを おもしろく！」をテーマに、大崎駅西口商店会 新規事業室と連携して、ICT を活用した街づくりを実践しながら、リアルとバーチャルを行き来する、わくわくするような体験を提案、創造してまいります。

以上

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

クウジット株式会社 広報 メールアドレス: pr@koozyt.com

<参考資料>

【「エブリスポ！」実施概要】

※公式サイト <http://www.everyspo.com> もご覧ください。

<チームバトル、ミニゲーム>

実施期間: 2015年3月2日(月)~22日(日)

デジタルサイネージ稼働時間: 上記期間中の8:00~20:00 ※開催期間中に変更の可能性あり

デジタルサイネージ設置場所: 大崎西口エリアの2カ所

(ThinkPark 1F「THE FooTNIk」店舗内、ダイワロイネットホテル 2F「スポーツクラブ NAS 大崎」店舗内)

参加者: チームバトル/約60名(本実験参加・協力企業の社員30名、一般公募の近隣住民30名を予定)

ミニゲーム/デジタルサイネージ稼働時間内であれば誰でも体験可能(無料)

<表彰イベント>

実施日時・場所: 2015年3月29日(日)13:00~16:00 ThinkPark Arena

参加者: 誰でも自由に参加可能(無料)

【クウジツ株式会社について】 <http://www.koozyt.com>

「PlaceEngine」技術を開発したソニーコンピュータサイエンス研究所のメンバーが中心となり2007年7月に設立されました。[空]と[実]をつないで人の心や身体を豊かにすることで社会に貢献することを理念に、屋内測位技術やAR、笑顔認識、行動認識などの各種センシング技術を用いたインタラクション技術を駆使し、ビジネスからエンタテインメント用途までの幅広い技術ソリューションやアプリケーション・サービスの企画・開発・運営を行っています。スマホやデジタルサイネージのみならず、IoT/Wearable 技術を活用し「街での ヒト・モノ・コトを おもしろく！」をテーマに、実空間の価値をICT技術で増幅するコンセプト(Location Amplifier、ロケーション・アンプ)を推進しています。

【大崎駅西口商店会 新規事業室について】 <http://osakinishi.net/>

大崎駅西口商店会 新規事業室では、大崎のPRや発展の為に様々な企画やイベント活動を行っています。大崎一番太郎プロジェクト推進室は、大崎一番太郎の公式グッズへの認定や制作・販売のサポート、ファンの皆様同志の交流、マジ基地TVの運営、大崎一番太郎を通じたPR活動などを中心に活動を展開しています。電腦カフェ(旧ゆにおきゆカフェ)は、「大崎・品川地域活性連携プロジェクト」の一環として、(株)スタジオディーン社ほか企業・団体との協業による「次世代クリエイターの育成とITコンテンツ産業地域活性」を目的としたプロジェクトを発足し、主に月1回の定期開催を行っています。

* その他の社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。